

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	避難訓練は定期的実施しているが、夜間想定の場合は利用者さんの昼寝時間に合わせて行っており、実際の暗い場面での訓練が実施されていない。	実際に暗い時間帯での訓練を実施し、危険な所はないか、誘導にあたっての注意点などを確認する。	日暮れの早くなる時期の夕方に、暗い場面での避難訓練を実施する。実際に誘導してみて危険個所がないか、誘導法の工夫などを確認する。	6ヶ月
2	12	ホーム内で看取りの事例がなく、職員の知識等にバラつきがある。	重度化や、終末期に備えてどのような経緯をたどっていくのかなど、勉強会を開催し知識を取得する。	利用者さんの疾病ごとに、終末期に向かうとどのような症状が出現しどのような対応が望ましいかなどを施設内勉強会を開催し職員の知識向上を図る。	3ヶ月
3					
4					
5					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。